2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	基礎柔道整復学・概論Ⅵ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎303
担 当 教 員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤　卓実	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

柔道整復師に必要となる総合的知識の確認を行う。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　100　%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

解剖学(全国柔道整復学校協会編集)
生理学(全国柔道整復学校協会編集)

《授業外における学習方法》

解剖学と生理学の教科書や国家試験問題を基に各自復習しておくこと

《履修に当たっての留意点》

既に履修した内容の復習になるので、各自苦手分野は必ず確認をして来てください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に向けて勉強の向かう姿勢	配布資料	講義内容を確認し、各自意見をまとめておく
		各コマにおける授業予定	導入　勉強とは		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の骨筋の復習	解剖学の教科書	上肢の骨筋を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　骨筋　上肢		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の骨筋の復習	解剖学の教科書	上肢の骨筋を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　骨筋　上肢		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢の骨筋の復習	解剖学の教科書	上肢の骨筋を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　骨筋　上肢		
第	講	授業を通じての到達目標	下肢の骨筋の復習		

第5回	義形式	各コマにおける授業予定	解剖生理　骨筋　下肢	解剖学の教科書	下肢の骨筋を復習しておく

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の骨筋の復習	解剖学の教科書	下肢の骨筋を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　骨筋　下肢		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系の復習	解剖学と生理学の教科書	泌尿器系を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　泌尿器		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系の復習	解剖学と生理学の教科書	泌尿器系を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　泌尿器		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈管系(動脈)の復習	解剖学と生理学の教科書	脈管系を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　脈管　動脈		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈管系(静脈)の復習	解剖学と生理学の教科書	脈管系を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　脈管　静脈		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経の復習	解剖学と生理学の教科書	脳神経を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　脳神経		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の復習	解剖学と生理学の教科書	呼吸器系を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　呼吸器		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の復習	解剖学と生理学の教科書	消化器系を復習しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理　消化管		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修範囲の復習	解剖学と生理学の教科書	履修範囲の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	総復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修範囲の理解度確認	解剖学と生理学の教科書	履修範囲の復習をして授業に望む
		各コマにおける授業予定	総復習		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論Ⅵ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎303
担 当 教 員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤　卓実	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

柔道整復師に必要となる総合的知識の確認を行う。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　100　%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

解剖学(全国柔道整復学校協会編集)
生理学(全国柔道整復学校協会編集)

《授業外における学習方法》

解剖学と生理学の教科書や国家試験問題を基に各自復習しておくこと

《履修に当たっての留意点》

既に履修した内容の復習になるので、各自苦手分野は必ず確認をして来てください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	今後の予定を伝えたので、次回復習を行っておく
		各コマにおける授業予定	導入		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	病変　解剖生理		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	萎縮　細胞障害　解剖生理		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	循環障害　解剖生理		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	浮腫　解剖生理		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	進行性病変　解剖生理		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	進行性病変　解剖生理		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	移植　解剖生理		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	炎症　解剖生理		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	免疫　解剖生理		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	腫瘍　解剖生理		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	先天性疾患　解剖生理		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	奇形　解剖生理		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く　病理学や外科学も学ぶ	外科学　病理学 解剖学　教科書	授業範囲の復習を各自行う
		各コマにおける授業予定	病因　解剖生理		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖学を通じてより深く病理学や外科学も学び科目横断的に理解する	外科学　病理学 解剖学　教科書	履修範囲の復習を行い授業にのぞむこと
		各コマにおける授業予定	まとめ		